

(社)日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会
第117回 レベル1PRA分科会 議事録

1. 日時 第117回：2024年1月16日（火）10:00～11:30

2. 場所 Web開催（Webex）

3. 出席者

（出席委員）牟田主査，桐本副主査，喜多幹事，高橋（拓）幹事，丹野幹事，橋本幹事，
岩谷，香川，吉川，塩田，小森（11名）

（常時参加者）羽佐田，寺島，東（3名）

（敬称略）

4. 配布資料

P4SC-117-1 第116回レベル1PRA分科会議事録

P4SC-117-2 内の事象PRA基準・指針と現行パラメータ推定標準の対応

5. 議事内容

(1) 出席者/資料確認

委員11名が出席しており，分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。
また，配布された資料が確認された。

(2) 前回議事録確認

資料P4SC-117-1により，前回分科会の議事録の確認を行った。

(3) パラメータ推定標準の改定について

改定趣旨について，リスク専門部会・標準委員会への説明で了承が得られたことが報告された。資料P4SC-117-2により，パラメータ推定標準の改定に向けた論点について報告があった。主な議論は次のとおり。

- ・内の事象PRA基準・指針と現行パラメータ推定標準において，基本的には齟齬はないと考えられる。
- ・今回のパラメータ推定標準の改訂では，内容の更新と基準・指針の体系に合わせた標準形態を検討していく。
- ・内容については，現在進めている文献調査の結果も踏まえて，主に附属書の更新を検討していくことになろう。また，頻度論の扱いについても整理していく。
- ・標準形態は，本体の規定ぶり，他標準からの引用具合などを懸案し，使い易いものとして

いく。

- ・まずは、パラメータ推定のために必要となる情報の調査・整理から進めていく。また、産業界の最近のプラクティスなどもフォローする。

(4) その他・今後の予定について

次年度のリスク専門部会標準策定5か年計画について確認した。

次回分科会は、文献調査の状況や内容検討等を想定し、4月中を目途に改めて調整することとなった。

以上